

<ちょこっとコラム④>

(聖書時代の生活と文化 その⑥)

「オリーブ」 Olive

オリーブが鳩とともに世界共通の平和のシンボルであることは、旧約聖書、創世記のノアの洪水物語に由来しています。40日間にわたる大雨がやみ、水が引き始めたとき、二度目に放たれた鳩がくちばしにくわえて持ち帰ったのがオリーブの葉だったのです。それは、神の人間に対する愛と赦しを知らせるものでした。人間が神を仰ぎ、平和に暮らす願いを込めて、オリーブの花言葉は「平和」となり、国際連合旗にも使われています。モクセイ科の植物で、樹高6~10mの常緑樹です。どんな荒れ地にもよく耐えて生育するようで、主に地中海沿岸一帯で栽培され、イスラエルでもいたるところで栽培されています。

ちなみに桃山基督教会の瓦には、鳩とオリーブが彫られています。